「いのち」と「暮らす」と「生きる」を学ぶ、まちのジャーナル

ライフの学校新聞

Vol.16

2026年 夏 号

六郷キャンパス 花火が繋いだ地域の輪



毎年8月になると開催される閖上の「なとり夏まつり」。パートナー（利用者さん）にも、地域の方にも楽しんでいただけるように、テラスを開放することに。

予想を超えるほどの地域の方が人伝に集まり、パートナーと一緒に花火を楽しみました。会場ではミニ縁日も開催。焼きそばや焼き鳥、かき氷、わたあめなどの屋台も並び、こどもから大人まで世代を問わず、老若男女が笑顔で楽しみ、盛り上がりをみせていました。地域からの声をきっかけにはじまったイベントを大切に、今後も続けていきたいと思います。

縁日



輪投げやヨーヨー釣りはこどもたちからも大人気。水遊びのコーナーでははしゃぐ声が聞こえていました。

屋台



鉄板で調理する焼きそばや焼き鳥に加え、夏ならではのかき氷も提供。パートナーやスタッフから好評でした！

花火





地域の方々と一緒に見上げた花火。次々と打ち上がる花火に歓声が上がり、最後には自然と拍手が。心温まる時間となりました。







文：中島駿、伊東星璃

今年も六郷キャンパスを開放予定！
なとり夏まつり：2026年8月8日（土）19:30～花火打ち上げ

先輩レシピ！

和子さんのかぼちゃサラダ





ポテトチップスがポイント！
サクサクの食感とほどよい塩分が食欲をそそります。

① かぼちゃをふかし、つぶす
② つぶしたかぼちゃに、塩コショウ、マヨネーズを入れ混ぜる
③ うずらの卵を入れ、卵がつぶれない程度に混ぜる
④ ポテトチップスをさっくりと混ぜあわせて完成



文：片山晴香

ふうたの日々



ネコは汗での体温調節が苦手。直射日光を避け、風を循環させるなどの環境づくりと、こまめな水分補給が大切です。

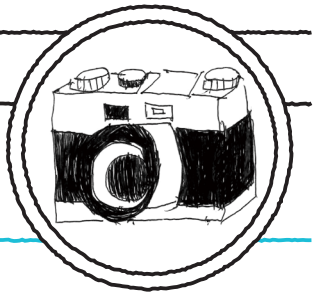
ふうたもロールカーテンを下げたり、流れる水飲み器を使ったりしています。また、お腹や肉球を冷たい床にピタッとつけて寝転がるのは、体にこもった熱を逃がすため。表面積を広くすることで効率よく熱を逃がしているそうです。



文：髙橋香織

写真でたどる、ライフストーリー

中塩旦子さんの一枚



常に笑顔で前向きに

女のガキ大将！たくましく歩んだ人生

常に前向きで楽天的な旦子さん。その性格を形作るきっかけとは？



同級生と旅行に行ったとき。サングラスをかけているのが旦子さん

学生時代

小学生の頃はやんちゃな性格で、職員室の前に立たされることもあったという旦子さん。友達にちょっかいをかける子に対して「だれ、泣かして！」と叱っていて、友達から頼りにされていたそうです。そんな性格から、ついたあだ名は「女のガキ大将」。こどものときは一度も病気をしたことがなく、とても健康だったそう。きょうだいのなかでも、農作業の力仕事はいつも旦子さんの仕事だったそうです。しかし、学生時代は農作業の手伝いが嫌で、なんと陸上部とバレー部、ソフトボール部の3つの部活を掛け持ち。「わざと家に帰る時間を遅くしてたの」と笑いながら教えてくれました。

魚嫌い

魚が嫌いだという旦子さん。なぜ食べないのか聞くと、「昔、うちの隣に兵隊さんがいてね。魚を取ってきて料理を作ってたんだけど、魚の頭をちょん切ったやつが、ちょうど通ったわたしの足元に来てね。それから食べられなくなったの」と教えてくれました。数十年食べていなかったという魚ですが、昨年外出したときに、なんとマグロ丼を完食。一緒に行った家族もびっくりな出来事でした。

楽天的な性格

旦子さんのお母さんは、「頭はよくなくていいから、身体が丈夫ならいいから」と日頃から言っていたそうです。その言葉から、常に楽天的に考える性格になったと話します。話しているなかで、「つらい」「しんどい」などのネガティブな言葉は一切出てきませんでした。「楽しい人生よ」「つらいことって、何にもないの」「これからが人生なのよ」と常に前向きに話します。旦子さんと話すと、前向きな気持ちになれます。

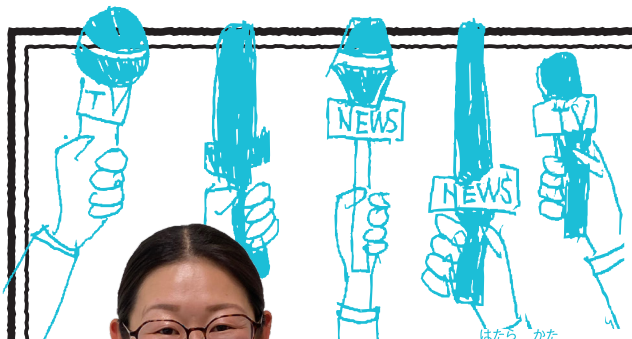
中塩旦子さん

1938年2月1日、宮城県亘理町生まれ。6人きょうだいの末っ子。名前の由来は、旧正月の元旦に生まれたことから。夏場になるとプランターで野菜を育てている。





文・聞き取り：宮東涼夏



このまち インタビューVol.16

平塚彩さん

六郷キャンパス、幸町キャンパススタッフ





働き方への思いを聞かせてください。

ライフの学校のことは保育園がきっかけで知りました。これまでの保育士としてのスキルを磨きつつ、発達支援について知識や視野を広げたいと思っています。いまは、保育園と放課後デイサービスセンターを兼務しながら、児童発達支援管理責任者の資格取得を目指しています。まだ慣れない部分もありますが、わたしの働き方が、こどもたちや法人にとってプラスになればうれしいなと思っています。

幸町キャンパスで印象に残るエピソードは？

幸町キャンパスはお年寄りとこどもたちが交じりあい、自然な世代間交流が生まれています。こどもたちは小規模多機能センターやグループホームへ行って、一緒にトランプやゲームをすることを楽しみにしています。なかには、すっとおばあちゃんの膝に座る子がいたり、ゲームをすれば大人の方が勝負に本気だったり。笑顔あふれる時間となっています。こうした温かなかかわりは、こどもたちにとっても貴重な経験になっていると感じます。



仕事をする上で大切にしていることは？

「心身ともに健康でいること」と「笑顔」です。心や体の状態によって、周囲とのかかわり方も変わると思います。保育現場では健康でいることが基本で、原点かつ頂点なのかなと感じます。あとは、常に笑顔でいることを心がけています。一人の保育者としてだけでなく、一人の人としてこどもたちと心を通わせることを大切にしています。これからも一緒に発見や喜びを共有しながら、笑顔で過ごせる毎日をつくっていきたいです。

宮城県石巻市出身。幼稚園教諭、保育士の資格を保有し、現在は六郷キャンパスと幸町キャンパスを兼務。趣味はフラダンス、タヒチアンダンス、雀踊りなど。



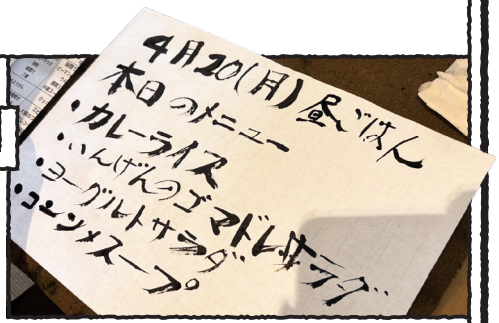


聞き手・文：
ヴティトゥトゥイ、
遠藤圭

小さな美術館



湯田さんの書道



萩の風キャンパスで暮らす湯田勝子さんは、書道の「師範」の資格を持つパートナー（利用者さん）。小学3年生から書道をはじめ、今年でなんと78年。以前は、書道教室を開いており、小学生から大人までさまざまな人に教えていたそうです。一度もやめたいと思ったことはないそうで、いまでも毎日書道を楽しんでいます。先日開催したウィークエンドプログラムでは、先生としてこどもたちに書道を教えてくれました。また、毎日の日課として、食事のメニューを書いています。ほかのパートナーも湯田さんが書くメニューを楽しみにしています。



文：佐藤由樹乃

ライフの学校とは

福祉施設を地域にひらき、さまざまなひとが集う「学びあいの拠点」にしている社会福祉法人です。現在は、萩の風・六郷・幸町・霞目・上飯田・新田の全部で6つのキャンパスと畑があり、高齢者福祉、障害者福祉を中心にさまざまなプロジェクトを行っています。

社会福祉法人
ライフの学校
https://gakkou.life

萩の風キャンパス 仙台市若林区上飯田字天神1-1

[利用案内] ※どなたでも利用できます

嫁入りの庭

入居するパートナーと一緒にかつての嫁入り道具のようにやってき家具や植木のある庭。ベンチには電源も。出入り自由。

◎24時間365日（年中無休）

ライフの図書館

福祉や地域に関する図書が並び、自習室としても利用できます。

◎時間＝9:00–18:00（金曜は15:30まで）

駄菓子屋「かみふうせん」

看板猫のふうたもお待ちしています。

◎時間＝10:00–16:00（年中無休）

こども食堂「おかえり」

嫁入りの庭でとれた野菜も使用した料理は好評！

◎日時＝第3土曜、12:00–14:00

そのほかのイベント

ウェブサイトでご確認ください。

霞目キャンパス 仙台市若林区霞目2-14-26

ウェルカム！ カフェ

日替わりメニューはインスタストーリーをチェック！

◎日時＝火〜土曜（祝日営業、日・月曜休み）、10:00–16:30

Instagram

新田キャンパス 仙台市宮城野区新田5-1-20

ゆとりの医科歯科クリニック

口腔と全身の健康管理ができます。詳細はウェブサイトをご覧ください。

おしらせ

ウェブサイトがリニューアルします！

2020年に法人名をライフの学校に変更してから運用している、現在のウェブサイト。その後、事業が増えてきたこともあり、2026年7月にリニューアルすることになりました。これまでより、サービスの種類やライフの学校の取り組みなどが、より分かりやすくなります。また、サービスを利用する方だけではなく、ライフの学校で働きたいと考えている方のために、採用ページも新しくなる予定です。どんなウェブサイトになるのか、楽しみにしていてください！

ウェルカム！ カフェ、キッチンカー始動

2026年6月からウェルカム！ カフェのキッチンカーの運用が始まりました。カフェでつくったパンや菓子、外国籍スタッフがつくった料理などを販売していきます。就労支援センターに通うパートナー（利用者さん）の作業の幅もぐんと広がります。カフェでだけでなく、どんどん外に出て展開していくウェルカム！ カフェ。たくさんの場所で出店できればと考えているので、乞うご期待！



編集後記

湯田さんの書道教室は、縁側でこどもたち、座敷で大人たちに字を教えていました。大人にもこどもにも教えていたので毎日忙しく、休みもあまりなかったそう。「若かったからなんとかなったかな」と笑っていました。これまでで特に印象に残っていることは、教え子との再会。スーパーで会った際に、「湯田先生！」と大きな声で呼ばれたことがうれしかったと話していました。佐藤由

入職してからはじめて大きな行事に参加しました。花火大会では、お年寄り、こどもたち、地域の方々が一つになり、たくさんの笑顔があふれていました。こどもたちが楽しそうに過ごす姿や、パートナーや地域の方々との温かな交流を通して、人との繋がりの大切さを改めて感じる機会となりました。伊東

ライフの学校新聞　Vol.16　2026年夏号
発行日：2026年7月21日
発行：社会福祉法人ライフの学校
宮城県仙台市若林区上飯田字天神1-1
022-289-8555

発行人：田中伸弥
編集：堀内直美＋守安里沙＋片山晴香＋杉山いのり＋渡邊かおり＋伊東星璃＋遠藤圭＋ヴティトゥトゥイ＋佐藤由樹乃＋中島駿＋宮東涼夏＋髙橋香織［ライフの学校］
デザイン：阿部航太、伊藤健太　写真：阪本勇
イラストレーション：稲見かおり＋杉山いのり＋安川皓＋矢部晃太郎＋渡辺果南［ライフの学校］